

家庭分野の目標に盛り込まれた「これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる」とはどのような意味か。

- 「これからの生活を展望して」とは、「将来にわたって自立した生活を営む見通しをもつ」ということである。家庭分野では、自己の生活の自立を目指して学習を行うが、その過程で「自分にもこのような形で自立できるかもしれない」などと自立への見通しや期待をもつことを意図している。
- 「課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度をそだてる」とは、身近な生活の課題を主体的にとらえ、具体的な実践を通して課題の解決を目指すことによって、よりよい生活を営む能力や実践的な態度を育成することを意味している。

[例]

A 家庭生活と家族

(2) 家庭と家族生活

イ これからの自分と家族、家族関係をよりよくする方法

家族関係をよりよくするためにはどのような方法があるか、家族の一員としてどのようなことができるのかを具体的に考えさせ、実践に結びつけていく。

[指導の工夫]

- ・ 物語の活用や製作、ロールプレイングなどの活動を通して、家族や友人とのコミュニケーションの作り方や改善していくための工夫を話し合う。
- ・ 生徒のプライバシーには十分配慮する。